

令和8年



サシカワ かわら版

第822号

2026年1月19日発行

三多摩食糧卸協同組合

令和7年産米 情報

今週の玄米入荷情報

新潟 コシヒカリ黒川

新潟コシヒカリ長岡特裁

秋田 あきたこまち

栃木 コシヒカリ

茨城 コシヒカリ

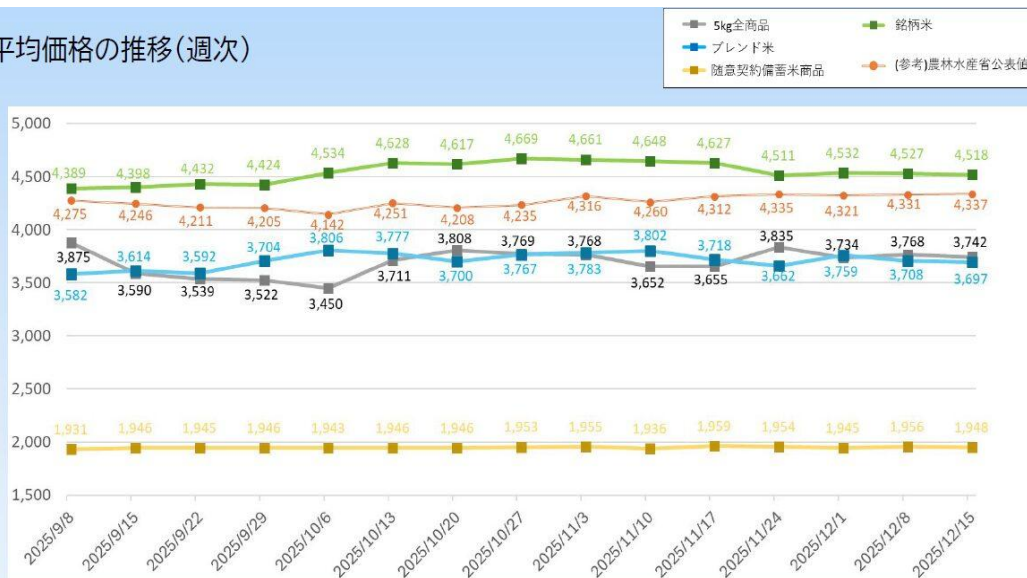
岩手ひとめぼれ

佐賀 夢しずく特裁

佐賀 さがびより

千葉 ふさがね

平均価格の推移(週次)



全国約1,200店舗のスーパー(大手メイン)を対象に収集・分析した週次データ(12月15~21日)によると、**全平均は▲26円の3,742円(5kg税込)**と小幅に**反落**したが、10月以降はどちらも**横ばい**と言えるレンジでの動き。

アイテムごとの動きを見ると、**銘柄米・ブレンド米・随契米のいずれも横ばい**。

2025年10月のカレーライス物価

1食あたり451円 / 前月から急伸、「第二次カレーショック」

2025年10月時点で1食あたり451円となった。1年前の2024年10月(371円)からは+80円・21.6%増と、16カ月連続で前年同月比2ケタを超える大幅な上昇が続いた。また、前月(438円)からは+13円と急伸し、2カ月連続で前月から増加し、過去10年で最高値を更新した。カレーライス物価は再び大幅な上昇へと転じ、今夏に続く「第二次カレーショック」の兆しがみられる。

費用の内訳

「カレー具材(肉・野菜)」で、217円(前年同月201円、+16円)、前月(213円)から4円上昇。タマネギのほか、メークインなどジャガイモでも夏場の高温・少雨による影響で不作傾向が強まり、大幅に値上がりしたことが影響。輸入牛肉でも、米国産の値上がりに加え円安の影響も背景に価格が上昇。「ごはん(ライス)」価格は、野菜類同様に価格安定の局面から大幅な上昇傾向へと転じており、前年同月(142円)から+61円・43.0%増の203円と大幅に上昇。「ごはん」価格が200円を超えたのは、比較可能な2015年以降で初めてで、「コメ不足」が深刻化した今夏を上回る高値となった。「カレールー」(28円)は、市販ルーや食用油の値上げが店頭価格に波及し、前月から1円、前年同月からは3円上昇。なお、炊飯器での炊飯やガス調理などの「水道光熱費」(4円)は変動がなかった。



【出所】総務省「小売物価統計調査」を基に帝国データバンク作成

【※】カレーライス物価:カレーライスで使用する原材料や、調理にかかる水道光熱費などを独自に試算した指数